

令和9 (2027) 年度 Meio University Graduate School of Nursing

名桜大学大学院 看護学研究科 看護学専攻

[博士前期課程 + 博士後期課程]

博士前期課程

修士（看護学）MSN

入学定員：6名 修業年限：2年

- ▶ 高度実践者の養成
- ▶ 教育・研究者の養成
- ▶ がん看護 CNSコース(令和6年度開設)

博士後期課程

博士（看護学）PhD

入学定員：2名 修業年限：3年

- ▶ 高度な研究能力を有する
教育研究者の育成

Contents

研究科長あいさつ	P.2
看護学研究科（博士前期課程）	P.3
教育研究上の目的	P.3
教育研究上の目標	
養成する人材	
三つのポリシー	
教育課程の概念図	
教育課程	P.4
修士論文	
修了後の進路	
専門領域の紹介	P.5
在学生からのメッセージ「大学院で学ぶ」	P.6

看護学研究科（博士後期課程）	P.7
教育研究上の目的	P.7
教育研究上の目標	
養成する人材	
三つのポリシー	
教育課程の概要	P.8
専門分野	P.9
研究スケジュール概要	
修了後の進路	
入試情報	P.10
大学院で学ぶQ&A	P.11
学費等	P.12



公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY



名桜大学 基本理念

平和・自由・進歩
名桜大学は、平和を愛し、自由を尊重し、人類の進歩と福祉に貢する
国際的教養人と専門家の育成を建学の精神とする。

ご挨拶

少子高齢化や疾病構造の変化、医療の高度化などにより、人々を取り巻く健康課題はますます複雑化・多様化しています。看護職には、目の前の現象を捉えるだけでなく、その背景にある本質を見極め、新たな知見を創出し、多様な専門職や地域社会と協働しながら課題解決に取り組む力が求められています。

名桜大学大学院看護学研究科は、2022年に博士後期課程、2024年にはがん看護専門看護師教育課程を開設し、高度な実践能力と教育研究能力を備え、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる人材の育成を目指して発展を続けています。

私は、研究を単に答えを導き出すための営みとは捉えていません。研究とは、問いを立て、探究し、その成果を実践や教育へ還元することを通して、より良い社会の実現に寄与する営みであると考えています。大学院での学びは、臨床や地域で感じる疑問や課題を出発点として、根拠に基づいて考え、多様な立場の人々と協働しながら新たな価値を創造する力を育む場です。

名桜大学は、「平和・自由・進歩」を建学の精神とし、地域に根ざしながら国際的視野をもって社会に貢献する人材の育成を理念として掲げています。本研究科においても、多様な地域社会が抱える健康課題に真摯に向き合い、地域で生じる課題を普遍的な課題として捉え、その解決を通して得られた知見を国内外へ発信し、看護学の発展と社会への還元につなげていくことを大切にしています。

本研究科には、働きながら学ぶ方、遠隔地から学ぶ方、学部卒業後に進学する方など、多様な背景を持つ学生が集います。博士前期課程では、実践を基盤として専門性を深め、実践や教育の質向上に貢献できる高度専門職の育成を目指しています。また、博士後期課程では、新たな知見を創出し、看護学の発展と次世代の人材育成を担う教育研究者の育成を目指しています。

本研究科での学びを通して、自ら問いを立て、他者と協働しながら新たな価値を創造し、人々の健康と看護学の発展に貢献できる人材へと成長されることを心より期待しています。



看護学研究科看護学専攻
(博士前期課程)

研究科長
木村 安貴

健康長寿社会を支える文化、精神を 看護科学として体系化



沖縄県北部12市町村 医療・保健の課題

- ✳ 医療機関や療養施設、医療人材の慢性的な不足
- ✳ 医師不在による産科病棟の休診
- ✳ 山間へき地の孤立した育児環境
- ✳ 救急医療や在宅療養資源の不足
- ✳ 高齢者の介護問題
- ✳ 生活習慣病の増大
- ✳ 妊産婦の低い受診率
- ✳ 心を病む人の増加

問題解決

高度な専門的技能を持つ看護実践者、
研究者・教育者の育成

名桜大学大学院

看護学研究科 看護学専攻 [博士前期課程]

ケアリング文化に根ざした看護学の実践的開発は環太平洋をはじめグローバルな世界へと開かれていく。

博士前期課程

■ 研究科：看護学研究科 Graduate School of Nursing

■ 専攻名：看護学専攻 Department of Nursing

■ 学位：修士（看護学） Master of Science in Nursing (MSN)

■ 標準修業年限：2年 入学定員：6人

教育研究上の目的

名桜大学大学院看護学研究科（博士前期課程）では、博士前期課程の理念を踏まえ、地域の健康問題を創造的に解決していく専門性の高い看護実践能力と看護の教育、研究能力を有する人材を育成し、保健・医療・福祉の質的充実・向上を目指すことを目的とします。

教育目標

1. 科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた判断力・問題解決能力を備えた看護職者の育成
2. 保健・医療・福祉分野における他職種及び市民と協働できる調整能力を備えた看護職者の育成
3. 地域の特性を踏まえ、住民の保健医療ニーズに応える看護職者の育成
4. 生涯学び続ける看護職として、看護学の専門性を探究する看護職者の育成
5. グローバルな視野で看護の役割を創造する能力を備えた看護職者の育成

養成する人材

看護学研究科は、地域に根ざし地域の健康問題を創造的に解決していく卓越した看護実践能力の育成と看護現象の解明を目的とした研究能力の開発、看護の新たな価値の創出を目指し、高度実践者及び教育・研究者の養成を目的としています。

(1) 高度実践者の養成

地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーを養成します。

(2) 教育・研究者の養成

ケアリング文化に根ざした看護教育を探究する教育者及び研究者を養成する。

三つのポリシー

I ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）は、以下の能力を身につけた大学院生に修士（看護学）の学位を授与します。

1. 科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力
2. 地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探究する生涯学習力
3. 地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力
4. グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力

II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 看護専門職として実践・研究を遂行するにあたり、基盤となる批判的・論理的思考力を育成するために、共通必修科目と共通選択科目を配置する
2. 看護実践および研究の質の向上に資する専門科目を配置し、志向する専門分野（基盤看護学分野、臨床看護学分野）における看護学の専門性を探究する能力を育成する
3. 研究方法、研究デザイン、研究計画等、研究に必要な基礎を修得する演習科目（専門演習）および修士論文を作成する研究科目（特別研究）を配置する
4. 修士論文の中間評価を行うとともに、修士論文審査に合格することを修了の条件とする

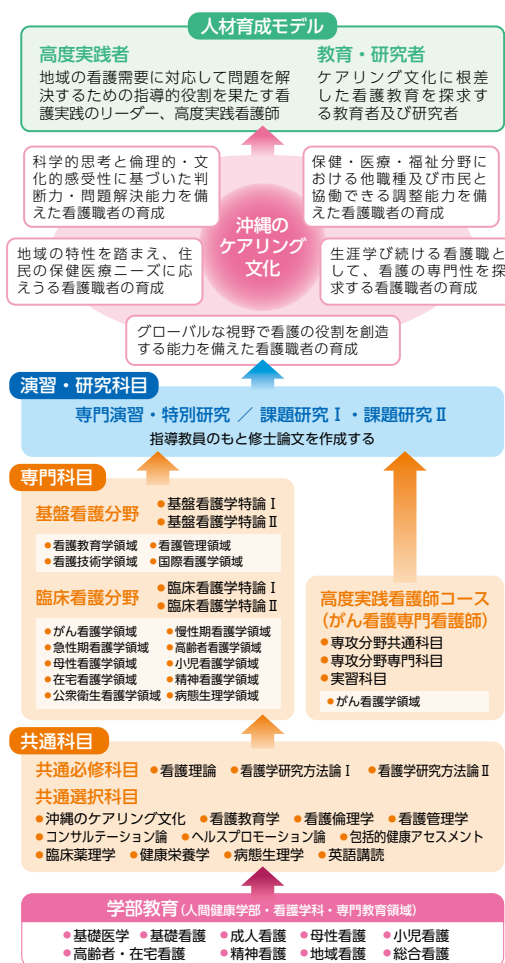
III アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）は、入学を希望する人に「求める学生像」で示す能力等を求め、これらを「入学者選抜方針」に基づき評価し、入学者を選抜します。

<求める学生像>

- (1) 看護学の発展に向けて、自ら進んで取り組む意欲と探究する姿勢を持っていること。
- (2) 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズに応えるため、高度な知識、看護実践能力および研究能力の修得を目指していること。
- (3) 看護実践・教育・研究を通して地域社会や国際社会に貢献する意思を持っていること。
- (4) 本研究科教育課程で学ぶために必要な基本的知識・技能を有していること。

教育課程の概念図



教育課程

■ 教育者・研究者の養成

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
共通科目	看護理論	1	2		必修科目3科目6単位を履修すること。
	看護学研究方法論I	1	2		
	看護学研究方法論II	1	2		
	小計(3科目)	-	6	0	
	沖縄のケアリング文化	1		1	4科目8単位以上履修すること。うち4単位は、国際文化研究科(修士課程)の共通科目及び教育研究領域科目(演習科目除く)並びにスポーツ健康科学研究科(修士課程)の共通科目及び専門科目から履修することができる。
	看護教育学	1		2	
	看護倫理学	1		1	
	看護管理学	1		2	
	コンサルテーション論	1		2	
	ヘルスプロモーション論	1		2	
	包括的健康アセスメント	1		2	
	健康栄養学	1		2	
	病態生理学	1		2	
	臨床薬理学	1		2	
	英語講読	1		2	
	小計(11科目)	-	0	20	
専門科目	基盤看護学特論I	1		2	基盤看護学分野または臨床看護学分野のいずれかを選択し、特論I及び特論IIの2科目4単位以上履修すること。
	基盤看護学特論II	1		2	
	小計(2科目)	-	0	4	
	臨床看護学特論I	1		2	
	臨床看護学特論II	1		2	
	小計(2科目)	-	0	4	
研究・演習科目	専門演習	1	4		専門演習4単位、特別研究8単位を履修すること。
	特別研究	2	8		
	小計(2科目)	-	12	0	
修得単位数合計			30		

■ 修了要件の30単位のうち、共通選択科目の4単位は、国際文化研究科(修士課程)の共通科目及び教育研究領域科目(演習科目除く)並びにスポーツ健康科学研究科(修士課程)の共通科目及び専門科目から履修することができる。

■ 高度専門職業人(がん看護専門看護師)の養成

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
共通科目	看護理論	1後	2		5科目10単位履修すること。
	看護学研究方法論I	1前	2		
	包括的健康アセスメント	1前	2		
	病態生理学	1後	2		
	臨床薬理学	1後	2		
	小計(5科目)	-	10	0	[看護教育学』『看護管理学』『コンサルテーション論』の3科目6単位から2科目4単位以上履修すること。
	看護教育学*	1前		2	
	看護管理学*	1後		2	
	コンサルテーション論*	1後		2	
	看護学研究方法論II	1後		2	
	沖縄のケアリング文化	1前		1	
	看護倫理学	1後		1	
	ヘルスプロモーション論	1後		2	
	健康栄養学	1後		2	
	英語講読	1前		2	
	小計(9科目)	-	0	16	
専門科目	がん病態治療学特論	1前	2		11科目24単位以上履修すること。
	臨床看護学特論I	1前	2		
	臨床看護学特論II	1後	2		
	緩和ケア特論I	1前	2		
	緩和ケア特論II	1前	2		
	緩和ケア特別演習I	1後	2		
	緩和ケア特別演習II	1後	2		
	がん看護学実習I	2前	2		
	がん看護学実習II	2前	2		
	がん看護学実習III	2前	4		
	がん看護学実習IV	2前	2		
研究・演習科目	小計(3科目)	-	24	0	[課題研究I]2単位、[課題研究II]4単位を履修すること。
	課題研究I	1後	2		
	課題研究II	2通	4		
修得単位数合計			44		

*はCNSコースにおける選択必修科目である。

■ 修了要件の44単位のうち38単位はCNSコースの必修科目である。

■ 国際文化研究科(修士課程)の共通科目及び教育研究領域科目(演習科目除く)並びにスポーツ健康科学研究科(修士課程)の共通科目及び専門科目から履修することができる。

修士論文

修士論文テーマ		分野
2025年度	地域医療連携部門に従事する退院調整看護師の高齢者退院支援の連携・調整における現状と課題	高齢者看護学領域
	「臨床推論」を受講した特定看護師が認識する看護実践の変化—特定行為研修を修了した看護師の語りから—	看護教育学領域
	長期生存期にある乳がんサバイバーが行う症状への対処の実態と課題—症状と共に生活するサバイバーの語りから—	がん看護学領域
	高齢者の親睦模様の様相	高齢者看護学領域
2024年度	一般病棟におけるがん患者の家族へのグリーフケアプログラムの構築に向けた関連要因の検討	がん看護学領域
	沖縄本島で化学療法を受けている離島がん患者の重症化予防支援の実施状況とその関連要因—病棟看護師を対象とした質問紙調査—	がん看護学領域
	断酒会メンバーの専門病棟における入院体験—効果的な入院治療と看護援助についての検討—	精神看護学領域
	産業看護職のやりがいに関する研究—複線経路等至性モデリング(Trajectory Equifinality Modeling;TEM)を用いた分析	公衆衛生看護学領域
	ハンセン病療養所に中途採用された看護師の体験	在宅看護学領域
	沖縄戦を生き延びた入院患者へのケアの様相—終戦後の看護を担った沖縄戦体験を有する看護職者への面接調査より—	在宅看護学領域

修了後の進路

■ 看護学研究科修了後は、次のような進路を想定しています。

- (1) 医療現場における看護実践のスペシャリストとして、看護の質向上を目指した指導的役割を担う。
- (2) 教育・研究者として看護教育機関(看護系大学、看護系専門学校等)への就職、または博士後期課程へ進学する。

基盤看護学分野

看護教育学領域

看護職者一人ひとりのキャリア発達を支える教育的支援の探究

看護教育学は、教育制度・カリキュラム・教育方法・評価・継続教育などを研究対象とし、質の高い看護実践と生涯学習を支える看護職の育成をめざす学問です。本領域では、看護職者のキャリア発達に着目し、基礎教育から継続教育、組織におけるキャリア開発までを視野に、理論と実践の往還を通して教育的支援のあり方を探究します。看護職者のキャリア発達や人材育成に関心をもち、共に学び、対話しながら理解を深めたい方を歓迎します。【担当教員:清水かおり】

臨床看護学分野

がん看護学領域

がん看護の質向上に向けた地域のがん医療に貢献する人材育成とエビデンスの開発

日本人の2人に1人が罹患するがんは、医療の進歩により「がんと共存する」へと変化し、包括的な視点と卓越した知識・技能を持つ看護職が求められています。本領域では、診断時から終末期までがんとともに生きる人々と家族を全人的に支えるための理論・概念を探究し、地域のがん医療に貢献できる人材育成とエビデンス開発に取り組みます。AYA世代支援、就労支援、意思決定支援などを主な研究テーマとしています。【担当教員:玉井なおみ、木村安貴】

高度実践看護師コース（がん看護専門看護師）

がん看護専門看護師の人材育成

がん医療の高度化や療養の場の多様化に伴い、患者・家族が抱える課題はますます複雑化しています。こうした状況に対応するため、看護師には高度な専門性と実践力、多職種をつなぐ調整力が求められています。本コースでは、最新の知見に基づく高度ながん看護実践を学び、複雑な課題に対応しながら患者・家族を支援するとともに、施設や地域におけるがん看護の質向上に貢献できるがん看護専門看護師の育成を目指しています。働きながらの履修や資格取得に関するご相談も随時受け付けています。【担当教員:玉井なおみ、木村安貴（がん看護CNS）】

高齢者看護学領域

文化を踏まえた高齢者看護の発展

少子高齢社会において、高齢者を生活者としてとらえ、セルフケア能力やQOLの維持・向上に向けた研究をしています。地域包括ケアシステム、高齢者施設環境、看護職者の倫理的なケア、閉じこもり予防、沖縄の看取り文化、意思決定支援など多様なテーマに取り組んできました。臨床現場で起こる高齢者をめぐる現象に目を向け、様々な視点からエビデンスを構築し、高齢者とその家族の幸せに貢献する研究を一緒に深めましょう。【担当教員:永田美和子】

母性看護学領域

ともに育む、女性と家族のwell-being

母性看護学領域では、リプロダクティブ・ヘルス／ライツが保障される社会の実現を目指し、少子化や晩産化、ハイリスク妊娠、家族形態の多様化など、昨今の日本の周産期事情を踏まえ、女性のライフステージに沿った健康課題を探究します。プレコンセプションケアや周産期ケアにおける倫理的課題、意思決定支援、パートナーシップを含め、切れ目のない支援の構築に資する実践・教育・マネジメントに関する研究を育みます。【担当教員:阿部正子】

小児看護学領域

子どもと家族の健康生活を支える看護者の養成

小児看護学領域では、健康から終末期・障害・在宅療養まで、あらゆる健康段階にある子どもと家族の支援について、関連理論を基盤にディスカッション中心に学びます。成長発達に関わる諸理論、母子関係・家族・環境の相互作用を理解しながら、その子らしい成長を支えるケアの実践と研究方法を探究します。医療を受ける子どもの権利、医療処置を受ける子どもへのプレバレーションなどのテーマに取り組んでいます。小児看護研究をさらに発展・深化させたい方、ぜひ本研究科で新たな一歩を踏み出しませんか。【担当教員:流郷千幸】

精神看護学領域

対話とつながりを基盤に、リカバリーという希望をもって精神看護実践を創造

本領域では、院生との深い対話を通じて、メンタルヘルスの維持増進から精神科看護の専門性まで幅広く探究します。予防的視点を持ちつつ、困難を抱える人のリカバリーを支え、個人が多様な人々と安心して暮らせる実践の創造を目指します。研究テーマは、対話と連携、ウェルビーイング、倫理的意思決定支援、有効なケア、精神看護教育など多岐にわたります。臨床経験を深めたい方、新たな視点から精神看護をとらえたい方、ともに精神看護学の未来を創造しませんか。【担当教員:平上久美子、鬼頭和子】

公衆衛生看護学領域

地域の特性を活かした公衆衛生看護学の創造・発展

保健師は「みる・つなぐ・動かす」の技術で健康な地域づくりを担う専門職です。本領域では、院生の経験や先行研究をもとにディスカッションを重ね、保健師職らの「暗黙知」の見える化を進めながら、発見力・洞察力・連携力・統合力などの修得を目指します。これまで育児期母親のレジリエンス、保健師の専門遂行能力、産業看護職のやりがいなどを研究テーマで取り組んできました。2040年を見据えたソーシャル・キャピタルを活かす公衆衛生看護学を一緒に探究しませんか。【担当教員:田場真由美】

病態生理学領域

病態生理を基盤とする看護実践

病態生理学領域では、生体機能が破綻するメカニズムを解明し、看護援助による機能回復の可能性を探究します。培養細胞を用いた遺伝子・生化学解析や生体機能測定などの実験研究を通じて病態の本質に迫ります。院生自らが臨床で抱く疑問をもとに研究計画を立案・実施・考察できるよう指導します。研究テーマは1型アレルギー疾患、がんと中心体、抗血栓機能、Ca²⁺チャネル調節、沖縄北部地域の健康寿命延伸など多岐にわたります。細胞レベルから公衆衛生まで、幅広い視点で一緒に学びましょう。【担当教員:花城和彦】

Special Message

「大学院で学ぶ」

大学院で学んでいる
看護学研究科(博士前期課程)の
在学生から進学を考えているあなたへ

大学で学ぶこと

基礎看護学分野(看護教育学領域)2年次

糸数 卓弘



私は、仕事と学業の両立と遠距離から通学するため、入学当初から長期履修制度を利用しています。講義の一部はオンラインを活用し自宅で受けることができ、遠距離でも学べる環境はありがたく感じています。

看護理論の講義で学んだ「理論なき実践は盲目である」という言葉が印象に残っています。理論を学ぶことで、臨床での看護実践が変わり、患者の変化を体験し、理論を学ぶ必要性を理解しました。

基盤看護教育学特論Ⅱでは、自施設のエdukationカリキュラムの現状分析、対象者へのアンケート調査と分析を行い「教育ニーズ・学習ニーズ報告書」として看護部に提出し、師長会でも報告を行いました。その時感じたことは、大学院で学ぶことは、組織に変革をもたらす役割があるのだと実感しました。

現在は、看護研究のインタビューで集めたデータ分析を行っています。初めて行う作業に戸惑いもありましたが、指導教員の分かりやすい指導のおかげで、もう少しで完成するところです。大学院修了後は、自施設で行われている看護研究に携わりたいと考えています。

入学当初は、漠然と学びたいという気持ちでしたが、2年間学んできた今、修了後の役割を自覚した視点で学ぶように変化していると実感しています。

支えに感謝しながら学ぶ日々

臨床看護学分野(母性看護学領域)1年次

石本 三智



大学卒業後、病院(産婦人科・小児科)で勤務し妊娠・出産を機に、子育てに専念していました。現代の子育て環境は、核家族化や地域とのつながりの希薄さなど、多くの課題を抱えています。母親としての体験からも、母子保健分野において看護職に求められる役割が増えていると強く感じ、自らの知識や経験を活かして社会に貢献するために、大学院進学を決意しました。

大学院では、これまでの出産・子育てを通じて感じた問いを起点に、母子を取り巻く支援のあり方について研究しています。講義などを通して、多様な経験や価値観を持つ看護職の仲間や先生方から受ける新鮮な視点は、自分自身の大きな学びに繋がっています。また子育て中であり、オンライン授業や長期履修制度、大学関係者の支援に支えられ、安心して学びを続けることができています。

妊娠・出産・育児の経験を通して得た実感を生かして、母子とその家族を支える看護の在り方を見つめ直し、今後も社会に貢献できるよう学びを深めていきたいと考えています。

大学院での学び

～看護を探究することへの挑戦～

臨床看護学分野 がん看護学領域(CNSコース)1年次

濱田 未来



生まれ育った大好きな北部地域の医療を支えたいという思いを抱き、北部地域の医療機関で看護師として働きながら、大学院で学んでいます。

これまでの経験や今後の目標を複合的に判断し大学院への進学を決意しました。臨床現場で経験した倫理的な問題に対する戸惑いや、困難感。解決方法が見出せずに時間が経過していく状況から感じた無力感。自身の抱く看護観と現実のずれに疑問を感じ、看護の本質を探究してみたいと感じたことなどが動機でした。

私が専攻するがん看護領域では、最新の治療法をはじめ、病変の成り立ちを細胞・分子レベルで理解するという基本的な学習等を通して、がん看護実践における高い専門性と実践能力の修得を目指し学んでいます。また、先生方や先輩、後輩とのディスカッションを通して自らの思考の特徴に気づき、思考を整理する力や言語化する力が養われていくと感じています。ここでしか得られない貴重な学びです。大学院は新たな知識の修得、自身とは異なる思考や価値観との出会いなど、日々刺激に溢れています。

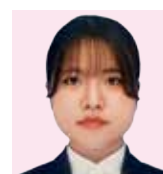
大学院進学は勇気が必要な一歩かもしれません。しかし、大学院での学びは多様化、複雑化する医療現場が抱える課題の解決に向けた見識を養うための一歩であると感じます。

共に学びあえる環境が名桜大学大学院にはあります。ぜひ、一緒に学んでみませんか。

地域とともに 成長し続ける保健師を目指して

臨床看護学分野(公衆衛生看護学領域)1年次

岡本 美空



私は現在、伊江村役場で保健師として勤務しながら、大学院に通っています。

高校・大学では学習支援ボランティアに参加し、教員という立場にも関心を抱いていました。また、大学の卒業論文では、大学入学以前から抱いていた「地域で暮らす高齢者が、閉じこもりや孤立などのリスクを回避しながら、自分の意思が尊重され、いきいきと自分らしい生活を送るためには、どのような支援が必要か」という問いについて考えました。しかし、自分が納得できる答えを見いだすには至らず、その問いをさらに探究したいという思いから大学院への進学を決めました。

一方で、大学院への進学は当初から決めていたわけではありません。他県の市町村への就職活動や保健師実習を並行して行いながら、進学と就職の間で最後まで悩みました。

結果として、大学院進学後に保健師としてのお話をいただき、新任保健師として勤務する機会に恵まれました。現在は、役場の皆様や大学院関係者の皆様に支えていただきながら、実践と研究の両面から学びを深めています。

このご縁に感謝し、地域の皆様や関係機関の皆様、大学院関係者の皆様との関わりを大切にしながら、市町村保健師として、そして公衆衛生看護学を学ぶ大学院生として、日々研鑽を積んでまいります。

名桜大学大学院

看護学研究科 看護学専攻 [博士後期課程]

沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、人々の健康と生活の質向上のための看護学研究を自律して行い、看護学の発展に寄与する高度な研究能力を有する教育研究者を育成します。

博士後期課程

■ 研究科：看護学研究科 Graduate School of Nursing

■ 専攻名：看護学専攻 Doctoral Program in Nursing Science

■ 学位：博士（看護学） Doctor of Philosophy in Nursing Science

■ 標準修業年限：3年 入学定員：2人

教育研究上の目的

本博士後期課程は、沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、人々の健康と生活の質向上のための看護学研究を自律して行い、看護学の発展に寄与する高度な研究能力を有する教育研究者の育成を目的とする。

教育研究上の目標

- ア 高い倫理観と論理的思考力を持ち、看護学の発展・深化に寄与する研究を自律して行える。
- イ 生涯に渡り自己研鑽し、高度な専門的知識と教育指導力を持って次世代の看護職を育成できる。
- ウ 沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、人々の生活及び地域のニーズに添った保健・医療・福祉の発展に貢献できる。
- エ 看護の専門性を追究し、看護ケアが提供される場における多様かつ複雑な要因の解明ができ、看護実践の改善・改革に取り組める。

育成する人材

- ア 沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、人々の健康と生活の質向上のための看護学研究を自律して行い、看護学の発展に寄与する高度な研究能力を有する教育研究者を育成する。
- イ 沖縄県及び我が国の地域医療の課題に取り組み、牽引する看護人材の継続教育を主導できる人材を育成する。
- ウ 看護ケアが提供される場に存在する多様な課題を研究しその成果に基づき、看護実践の改善・改革を主導できる看護人材を育成する。

三つのポリシー

I ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）は、以下の要件を満たした大学院生に博士（看護学）の学位を授与します。

- ア 高い倫理観と論理的思考力を持ち、看護学の発展・深化に寄与する研究を自律して行うことのできる能力を有している。
- イ 生涯に渡り自己研鑽し、高度な専門的知識と教育指導力を持って次世代の看護職を育成できる能力を有している。
- ウ 沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、人々の生活及び地域のニーズに添った保健・医療・福祉の発展に貢献できる能力を有している。
- エ 看護の専門性を追究し、看護ケアが提供される場における多様かつ複雑な要因の解明ができ、看護実践の改善・改革に取り組むことができる能力を有している。

II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

ディプロマ・ポリシーで示した能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

- ア 看護実践並びに看護学の発展に寄与する教育研究者の養成に必要な基盤となる要素を学習し、自律して研究を計画・実施できるように、「看護学研究特論」「看護教育学特論」を必修の共通科目として設定する。
- イ 沖縄の歴史や文化に根差したケアリングの理解をもとに、地域課題の特性を学習し、社会のニーズに対応できるように「沖縄のケアリング文化と看護」を必修の共通科目として設定する。また「沖縄の保健看護政策特論」を必修の共通科目として設定する。
- ウ 生体内外の変化及び調節機構を評価する指標や科学的エビデンスに基づいた看護実践を開発できるように「生体環境看護科学特論」を選択必修の共通科目として設定する。
- エ 生涯にわたり高度な専門性をもって教育・研究活動を行い、専門性の高いケアが実践できるように「基盤看護学分野」として「看護キャリア開発学特論」を、「応用看護学分野」として、「がん看護学特論」「成育健康看護学特論」を、「生活支援看護学分野」として「地域包括看護学特論」「精神保健看護学特論」を選択必修の専門科目として設定する。
- オ 看護の専門性を追究し、看護の発展に寄与する優れた学位論文を計画的に遂行し作成するために「看護学特別研究」を設定する。

III アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）は、入学を希望する人に「求める学生像」で示す能力等を求め、これらを「入学受入れ方針」に基づき評価し、入学者を選抜します。

＜求める学生像＞

- (1) 地域文化への強い関心を持ち、これまでの看護実践活動と研究成果から取り組むべき研究課題を見出し、研究を通して、看護学の発展や地域・社会に貢献しようとする意思を有している。
- (2) 看護専門職として必要な教養と倫理感、語学力や看護学に関する知識・技術を持ち、これまでの看護研究及び経験を通して培った基礎的研究能力を有している。
- (3) 論理的思考力と柔軟な発想を持ち、さまざまな課題を解決して真理を探究し、継続的に自律して研究を行う強い意思を有している。

※入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、一部（入学受入れ方針）、掲載を省略していますので、本学ホームページや学生募集要項で必ず全文を確認してください。

教育課程の概要

本博士後期課程の教育課程は、以下の表に示すとおり「共通科目」「専門科目」「研究科目」の3つの科目により構成します。

(1) 共通科目

看護実践並びに看護学の発展に寄与する教育研究者の養成に必要な基盤となる要素を学習し、自律して研究を計画・実施できるように「看護学研究特論」「看護教育学特論」を必修の共通科目として設定します。また、沖縄の歴史や文化に根ざしたケアリングの理解をもとに、地域課題の特性を学習し、社会のニーズに対応できるように「沖縄のケアリング文化と看護」を必修の共通科目として設定します。さらに「沖縄の保健看護政策特論」「生体環境看護科学特論」を選択必修の共通科目として設定します。

(2) 専門科目

博士後期課程の分野は、修士課程の専門分野を統合・発展させることを目指し、「基盤看護学分野」「応用看護学分野」「生活支援看護学分野」の3分野を設定しています。

基盤看護学分野

質の高い看護実践を行う専門職者として、看護実践の基盤となる教育方法を検討し、キャリア開発のモデルを探究します。

応用看護学分野

健康のレベルやケアの場に共通した看護実践を応用的に捉えて、がん罹患した人々、女性と子ども及び家族支援のエビデンスを創造し看護学のモデルを探究します。

生活支援看護学分野

保健医療福祉のニーズを見据え、社会の中で生活者として生きる人々の尊厳を保持し、生活の質及び自立を促進する当事者主体の看護を探究します。

さらに、それぞれの分野に生涯にわたり高度な専門性をもって教育・研究活動を行い、専門性の高いケアが実践できるように、専攻領域を置いています。「基盤看護学分野」の「看護キャリア開発学」専攻領域では「看護キャリア開発学特論」を、「応用看護学分野」の「がん看護学」専攻領域では「がん看護学特論」を、「成育健康看護学」専攻領域では「成育健康看護学特論」を、「生活支援看護学分野」の「地域包括看護学」専攻領域では「地域包括看護学特論」を、「精神保健看護学」専攻領域では「精神保健看護学特論」を選択必修として設定します。

(3) 研究科目

看護の専門性を追求し、看護の発展に寄与する優れた学位論文を計画的に遂行し作成するために「看護学特別研究」を設定します。

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数	
				必修	選択
共通科目 【必修】3科目6単位 【選択必修】1科目2単位		看護学研究特論	1前	2	
		沖縄のケアリング文化と看護	1前	2	
		沖縄の保健看護政策特論	1後		2
		生体環境看護科学特論	1後		2
		看護教育学特論	2前	2	
専門科目 【選択】1科目2単位	基盤看護学	看護キャリア開発学特論	1通		2
	応用看護学	がん看護学特論	1通		2
		成育健康看護学特論	1通		2
	生活支援看護学	地域包括看護学特論	1通		2
		精神保健看護学特論	1通		2
研究科目【必修】1科目6単位		看護学特別研究	1～3通	6	

※専門科目は、5科目から1科目を選択する ※「1前」「1後」「1通」・・・数字は学年、「前」は前学期、「後」は後学期、「通」は通年を指す

【修了要件】

修了要件は、本博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位（16単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導の下、研究計画書審査及び研究倫理審査を経て、論文審査及び最終試験に合格する必要があります。ただし、名桜大学大学院学則に基づき、在学中に優れた研究業績を上げた者として研究科が認めた場合に限り、2年以上3年未満の在学期間による早期修了を認めます。

専門分野

分野	専攻領域	教員	主な担当授業科目
基盤看護学分野	看護キャリア開発学	教授 グレグ 美鈴	看護教育学特論 看護キャリア開発学特論 看護学特別研究
応用看護学分野	がん看護学	教授 玉井 なおみ 教授 木村 安貴	がん看護学特論 看護学特別研究
応用看護学分野	成育健康看護学	教授 流郷 千幸 教授 阿部 正子	成育健康看護学特論 看護学特別研究
生活支援看護学分野	地域包括看護学	教授 永田 美和子 教授 田場 真由美 教授 大城 凌子	地域包括看護学特論 看護学特別研究
生活支援看護学分野	精神保健看護学	教授 鈴木 啓子 教授 平上 久美子	精神保健看護学特論 看護学特別研究

研究スケジュール概要

1年次	
前期	後期
共通科目・専門科目、看護学特別研究の履修	
4月 研究領域・研究指導教員等の決定	2月 合同検討会：研究計画発表 研究実績報告書提出
7月 論文題目提出（仮） 合同検討会：研究進捗状況発表	
8月 研究実績報告書提出	

2年次	
前期	後期
共通科目履修 看護学特別研究履修	看護学特別研究履修
4月 研究計画書申請 研究計画書審査	2月 合同検討会：研究の進捗及び成果発表 研究実績報告書提出
5月 倫理審査申請 倫理審査	
7月 合同検討会：研究の進捗状況発表	
8月 研究実績報告書提出	

3年次	
前期	後期
看護学特別研究の履修	
6月 博士論文審査願及び題目提出 合同検討会：研究の進捗及び成果発表	9月 予備審査の申請 10月 予備審査を受審
8月 研究実績報告書提出	11月 学位論文審査申請 12月 学位論文審査
	2月 公開論文発表会及び最終試験（口述） 最終論文提出 研究実績報告書提出
	3月 修了認定、学位授与式

修了後の進路

- (1) 看護系大学・大学院における質の高い教育を実践する教育研究者
- (2) 保健・医療・福祉機関における地域医療を牽引する看護職の継続教育を主導する看護教育担当者
- (3) 看護ケアや看護実践の改善・改革を推進する看護専門職者

社会人も学べる教育環境

昼夜開講制を導入

社会人学生の事情を考慮して、昼間に加えて、平日の夜間や週末及び夏季休業等にも授業又は研究指導を行うことができる教育環境を整備しています。

オンラインによる遠隔講義の実施

講義はオンラインで受講することも可能です。ICT技術を活用して、働きながら学ぶことができる教育環境を整備しています。

長期履修制度を導入

「職業（定職）を有している等の事情」のある学生を対象として、6年を上限とする長期履修制度を設けています。この制度による授業料は、標準の修業年限3年間分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定期間の年数で分割して納めることになります。長期履修制度を利用したい学生は、入学後の指定の期間内に申請してください。

施設の夜間利用

名桜大学附属図書館は、平日8:45～22:00まで（長期休業期間、講義のない日は17:00まで）、土曜日は12:00～18:00まで開館しています。また、大学院生専用の研究室・共同演習室を整備しています。

令和9(2027)年度 看護学研究科 入試情報

博士前期課程

選抜区分	募集人員	試験科目
一般選抜 社会人選抜	6名	・英語 ・専門科目 ・面接 ・書類審査（社会人選抜のみ）

博士後期課程

募集人員	試験科目
2名	・英語 ・口述試験

入試日程（博士前期課程／博士後期課程共通） 令和9〔2027〕年4月入学

	1期試験	2期試験
出願前相談期間	令和8年 8月 21日(金)まで随時	令和8年12月25日(金)まで随時
出願資格認定申請期間 ※該当者のみ	令和8年7月21日(火) ～7月31日(金)【必着】	令和8年11月24日(火) ～12月4日(金)【必着】
願書受付期間	令和8年9月 1日(火) ～9月9日(水)【必着】	令和9年1月4日(月) ～1月12日(火)【必着】
試験日	博士前期課程:令和8年10月17日(土) 博士後期課程:令和8年10月18日(日)	博士前期課程:令和9年2月6日(土) 博士後期課程:令和9年2月7日(日)
試験会場	名城大学	名城大学
合格発表	令和8年11月2日(月)	令和9年2月19日(金)
入学手続期間	令和8年11月2日(月)～11月9日(月)	令和9年2月19日～2月26日(金)

※1期試験で定員に満たない場合のみ 2期試験を実施。実施の有無は名城大学ウェブサイトでお知らせします。

※出願資格や選抜方法等、詳細な情報については学生募集要項で確認してください。



Q 令和9(2027)年度の入学者選抜(入試)はどのように実施されますか？

A 入学者選抜は、筆記試験、面接の各試験を試験会場(対面式)で実施します。入試の詳細については、学生募集要項を確認してください。

Q 専門学校卒業ですが、博士前期課程に進学できますか？

A 進学することは可能です。入学された皆さんの多くが、専門学校卒業の方々です。手続きとしては、出願する前に、出願資格審査を受けていただくことで受験が可能となります。詳しくは学生募集要項をご確認いただくか、入試・広報課(TEL.0980-51-1056)にお問い合わせください。

Q 大学院へ進学したいのですが？

A 受験を希望する方は、指導を希望する教員又は研究科長に必ず事前にご相談ください。受験の3～4カ月前くらいから相談をしていただき、必要な書類は受験の1～2カ月くらいまでに余裕をもってご準備ください。希望される方は、随時相談ができますので、各教員もしくは入試・広報課(TEL.0980-51-1056)にご連絡ください。

Q 事前の指導教員との相談を受けるには、どうしたらよいのでしょうか？

A 募集要項に指導教員情報を掲載していますので、直接連絡をしていただいてもかまいません。もし、教員が不在の場合には、メールをしていただくか、入試・広報課(TEL.0980-51-1056)にお問い合わせください。

Q まだ研究テーマがはっきりしていないので、どの先生に相談してよいのか、わかりません。

A どの領域や研究テーマがよいのか定まらない場合にも、遠慮なくご相談ください。大学のオープンキャンパスでご相談いただけます。

Q オープンキャンパスに参加したいのですが

A 令和8(2026)年度は、8月8日(土)*、3月20日(土)*の開催を予定しています。スケジュールなどは名城大学HPでご確認いただくか、入試・広報課(TEL.0980-51-1056)にお問い合わせください。当日は研究科担当の教員による進学相談コーナーを設けています。

※キャンパス内(対面式)で開催します。HPで詳細の確認を行ってください。

Q 大学院では、働きながら学ぶことができますか？

A 現職の看護師、保健師、助産師、看護教員等の社会人が仕事を続けながら学修できる教育環境を整備しています。

●昼夜開講制を導入

社会人学生の事情を考慮して、昼間に加えて、平日の夜間や土曜日、休日、夏季休暇中の授業及び研究指導を受けることができる教育環境を整備しています。

●オンラインによる遠隔講義の実施

講義はオンラインで受講することも可能です。ICT技術を活用して、働きながら学ぶことができる教育環境を整備しています。

●長期履修制度を導入

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限では修了が困難である方が、本来の履修期間を超え(博士前期課程3年間、博士後期課程6年)を上限に在学できる制度です(標準修業年限を超える授業料の支払いはありません)。但し、入学手続き時または入学後1年以内に申し出る必要があります。

●施設の夜間利用

名城大学附属図書館は、平日8:45～22:00まで(長期休業期間、講義のない日は17:00まで)、土曜日は12:00～18:00まで開館しています。また、大学院生専用の研究室・共同演習室を整備しています。

Q 入試過去問題を見ることはできますか？

A 過去に実施した入試問題は、名城大学入試・広報課窓口および名城大学HPでも閲覧できます。



その他ご不明な点がある方は下記へお問い合わせください。

名城大学 教務部 入試・広報課 Mail : nyushisodan@meio-u.ac.jp / TEL : 0980-51-1056

学費等納入金＜博士前期課程＞

看護学研究科			看護学専攻		
			名桜大学卒業生	地域内	地域外
学 費	入 学 金		62,500円	125,000円	250,000円
	授 業 料	前 期	267,900円	267,900円	267,900円
		後 期	267,900円	267,900円	267,900円
諸経費	後援会費	入 学 手 続 時	20,000円	20,000円	20,000円
	学生教育研究・災害傷害保険	入 学 手 続 時	1,750円	1,750円	1,750円
	学研災付帯賠償責任保険	入 学 手 続 時	1,000円	1,000円	1,000円
合 計		初年度納入総額	621,050円	683,550円	808,550円
初年度納入総額内訳		入学手続時納入金	353,150円	415,650円	540,650円
		後 学 期 納 入 金	267,900円	267,900円	267,900円

※諸経費は、入学手続時に2年間分を納入します。 ※総合補償制度「Will」(保険)については、希望者のみ必要に応じ随時加入できます。

学費等納入金＜博士後期課程＞

看護学研究科			看護学専攻（博士後期課程）		
			名桜大学卒業生・ 名桜大学大学院修了生	地域内	地域外
学 費	入 学 金		62,500円	125,000円	250,000円
	授 業 料	前 期	267,900円	267,900円	267,900円
		後 期	267,900円	267,900円	267,900円
諸経費	後援会費	入 学 手 続 時	30,000円	30,000円	30,000円
	学生教育研究・災害傷害保険	入 学 手 続 時	2,600円	2,600円	2,600円
	学研災付帯賠償責任保険	入 学 手 続 時	1,500円	1,500円	1,500円
合 計		初年度納入総額	632,400円	694,900円	819,900円
初年度納入総額内訳		入学手続時納入金	364,500円	427,000円	552,000円
		後 学 期 納 入 金	267,900円	267,900円	267,900円

地域内・地域外の入学金について

入学金については、志願票に記載されている事項に基づき、以下のとおり取り扱うことになります。

(1)地域内に該当する者とは次のいずれかに該当するものをいう。

- ①入学する者の卒業した出身高等学校が沖縄本島北部12市町村に所在していること。
- ②令和8(2026)年3月31日時点で既に1年以上継続して沖縄県北部12市町村に住所を有し居住している者
- ③入学する者の保護者、配偶者又は一親等の親族が令和8(2026)年3月31日時点で既に1年以上継続して沖縄県北部12市町村に住所を有し居住している者

≪沖縄本島北部12市町村とは≫

沖縄県の「名護市」、「国頭村」、「大宜味村」、「東村」、「今帰仁村」、「本部町」、「恩納村」、「宜野座村」、「金武町」、「伊江村」、「伊平屋村」、「伊是名村」のことを指します。

(2)上記①～③以外の者は「地域外」となり、入学金が「250,000円」となります。

(3)本学卒業生については、入学金は「地域内」の半額「62,500円」となります。

入学後の奨学金制度その他について

経済的な負担軽減を図るため、大学院奨学金制度があります。

また、看護学研究科の全大学院生への研究支援として、書籍や消耗品、学会発表に要する旅費交通費について研究支援補助金が支給されます。



公立大学法人

名桜大学
MEIO UNIVERSITY

教務部 入試・広報課

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1

TEL.0980-51-1056 FAX.0980-54-2429

E-mail:nyushisodan@meio-u.ac.jp

<https://www.meio-u.ac.jp/>

